

平成28年度 厚生労働科学研究費補助金 3次公募課題(案)一覧

第95回科学技術部会	資料
平成28年7月13日	1-1

研究事業名	研究課題	求められる成果	予算 (千円)	課題 数	研究期間 (年)
臨床研究等ICT基盤構築 研究事業	電子カルテ情報をセマンティクス(意味・内容)の標準化により分析可能なデータに変換するための研究	複数のベンダーが提供する電子カルテに実装可能な、電子カルテ情報からセマンティクス(意味・内容)をコード化する自然言語処理を行い、医療用語を標準化する人工知能技術の開発。	8,000～ 20,000	1～4	3
	人工知能技術を用いた病理画像データ診断の共通化・効率化に関する研究	人工知能技術を用いた、自動スクリーニングや見逃しの防止等の病理診断の効率化・診断補助を行うシステムの開発。	15,000～ 20,000	1～2	3
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業	健康寿命及び地域格差の要因分析と健康増進対策の効果検証に関する研究	・コホート研究を通じて健康寿命延伸の要因分析をし、健康寿命への影響度を明らかにする。 ・生活習慣病の有病率や死亡率といった地域格差の要因(生活習慣や社会経済状況)を明らかにする。 ・健康寿命の全国推移と都道府県格差の算定、および都道府県格差の評価方法の提案を行う。 ・健康増進事業も含めた自治体の施策の効果検証とPDCAサイクルも含めた好事例の提示を行う。	20,000	1	3
	虚血性心疾患・大動脈疾患の医療体制の整備のための研究	・虚血性心疾患・大動脈疾患の治療の現状を示し、医療体制整備に資する基礎資料 ・医療体制の中で中心となる拠点病院に求められる要件の指標、および医療計画への反映を見据えた地方自治体においても収集・活用が可能な指標	7,000	1	3
	脳卒中の医療体制の整備のための研究	・地域特性を考慮した医療体制整備(t-PA治療の均てん化、血管内治療の集約化等)に資する基礎資料 ・地域特性を考慮した医療体制整備のために活用可能な指標。	7,000	1	3
免疫アレルギー疾患等政策研究事業	リウマチ性疾患における小児期と成人期の異同性に関する研究	慢性疾患における、小児期から成人期への移行期医療を推進するにあたり、リウマチ性疾患の、小児及び成人における病因・病態の違いが、近年問題となりつつある。疫学及び病因探索から、病態に合わせた診断・治療法の確立を目指す。 求められる成果:基礎データの収集及び、診療ガイドラインの作成	7,000～ 8,000	1	1
新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業	梅毒報告数の増加の原因分析と効果的な介入手法に関する研究	梅毒拡大の原因、リスク集団を特定し、効果的な啓発活動等の介入方法について検討し、感染予防の推進や、患者を適切な治療に結びつけることで、梅毒患者の拡大を防ぐ。	3,000	1	2
エイズ対策政策研究事業	外国人に対するHIV検査と医療サービスへのアクセス向上に関する研究	①検査受検に結びつく効果的な介入手法の開発 ②自治体等におけるHIV検査時の説明資料の効果的な活用方法の検討とその評価 ③陽性者に対する支援に必要な既存の医療通訳の教育・活用方法の検討	7,000	1	3
地域医療基盤開発推進研究事業	看護実践能力の育成に資する効果的な教育方法に関する研究	・看護師等養成所における学生の看護実践能力を育成するために行われている教育方法の工夫の現状(事例の収集含む)と課題の明確化 ・看護師等養成所における今後の教育において学生の看護実践能力を育成するために活用できる具体的な教育方法の提言	3,000	1	1
	患者の医療機関選択に資する制度に関する研究	・各都道府県における医療機能情報提供制度の公表方法等の総括 ・これまでの、「医療情報の提供のあり方等に関する検討会」における議論並びに「医療の質の評価・公表等推進事業」の結果及びそのレビュー等を踏まえつつ、既存の医療機能情報提供制度の報告項目について、患者の医療機関選択に資する情報が否かという観点から精査し、より有用な報告項目や公表方法等を提案する。 ・遺伝学的検査等の実施時における患者にとって必要な情報の精査結果(国内におけるゲノム関連の他の研究班と連携して行うこと。)	6,000	1	1